

省エネの取組に関する経験談

朝日ウッドテック(株) CSR推進部 SDGs・環境推進室

本日の説明内容

1. 朝日ウッドテックの概要
2. 省エネへの取り組みのきっかけ
3. 実際の活動内容

1.朝日ウッドテックの概要

【社 名】	朝日ウッドテック株式会社
【本社所在地】	大阪市中央区南本町4-5-10
【設 立】	1952年9月16日
【資本金】	11億8,000万円
【売上高】	295億円（2022年度）
【従業員】	818名（朝日ウッドテックグループ 2023.4.1時点）
【事業内容】	内装建材および床下地材の製造・販売
【関連会社】	朝日銘木(株)

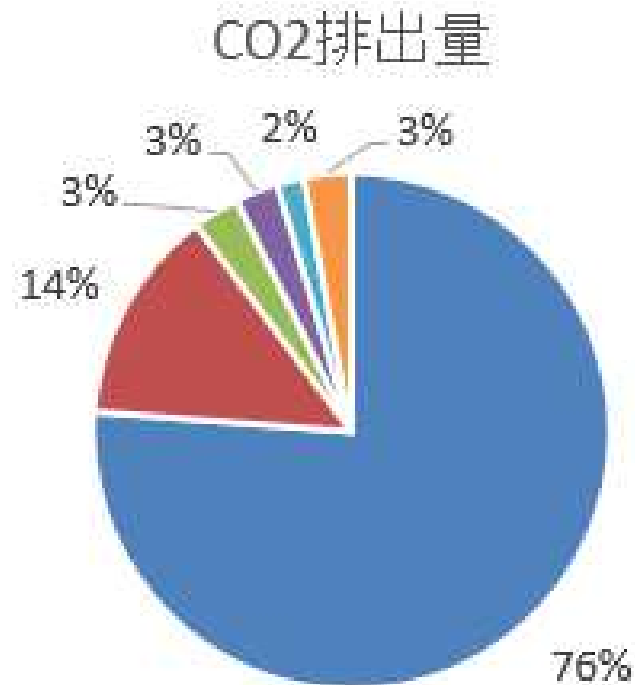
1.朝日ウッドテックの概要



1.朝日ウッドテックの概要

	CO2排出量 (t-CO2)	割合 (%)
電気	6,952	76%
都市ガス	1,232	14%
ガソリン	266	3%
LPG	245	3%
A重油	153	2%
その他	272	3%
合計	9,120	100%

電気が大半を占めている



■ 電気 ■ 都市ガス ■ ガソリン ■ LPG ■ A重油 ■ その他

本日の説明内容

1. 朝日ウッドテックの概要

2. 省エネへの取り組みのきっかけ

3. 実際の活動内容

2.省エネへの取り組みのきっかけ

事業者全体としての義務

(出典)資源エネルギー庁「省エネポータルサイト」

年度間エネルギー使用量 (原油換算値kℓ)		1,500kℓ/年度以上	1,500kℓ/年度未満
事業者の区分		特定事業者、特定連鎖化事業者 又は認定管理統括事業者（管理関係事業者を含む）	-
事業者の義務	選任すべき者	エネルギー管理統括者及びエネルギー管理企画推進者	-
	提出すべき書類	エネルギー使用状況届出書(指定時のみ) エネルギー管理統括者等の選解任届出書(選解任時のみ) 定期報告書(毎年度)及び中長期計画書(原則毎年度)	-
	取り組むべき事項	判断基準に定めた措置の実践（管理標準の設定、省エネ措置の実施等） 指針に定めた措置の実践（燃料転換、稼働時間の変更等）	
事業者の目標		中長期的にみて年平均1%以上のエネルギー消費原単位 又は電気需要平準化評価原単位の低減	
行政によるチェック		指導・助言、報告徴収・立入検査、合理化計画の作成指示への対応 (指示に従わない場合、公表・命令)等	指導・助言への対応

従来はエネルギー原単位の削減(前期比-1%)を目標にしていた

2. 省エネへの取り組みのきっかけ

1. **トップ**が脱炭素に高い意識をもっていた
2. **重要顧客**から要請があった
3. **担当者**が脱炭素を専門に業務できた

エネルギー原単位の削減に加え**CO2排出量の削減**の目標が追加

SDGs活動方針. SDGsの理解・浸透と 温室効果ガスの排出削減

当社グループのCO₂排出量を
2030年に半減、2050年に全体として実質ゼロに

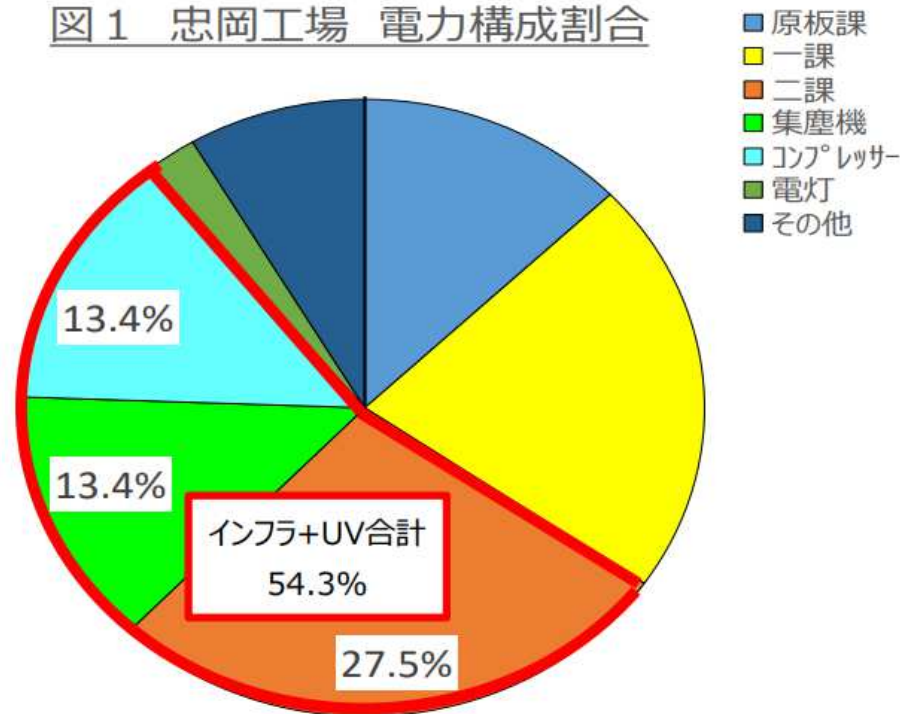
SDGsの 理解・浸透		SDGsに関する社内の理解・浸透を図る
温室効果ガスの 排出削減	省エネ の推進	各工場にて固定エネルギーの削減を実施中 →照明のLED化、高効率設備への更新など
	創エネ の継続	五條工場屋上での太陽光発電を継続 →（実績）2023年2月発電開始
	再エネ の調達	再エネ100宣言、RE Actionへの加入 →（2030年目標）電気の再エネ率42.6%

本日の説明内容

1. 朝日ウッドテックの概要
2. 省エネへの取り組みのきっかけ
3. **実際の活動内容**

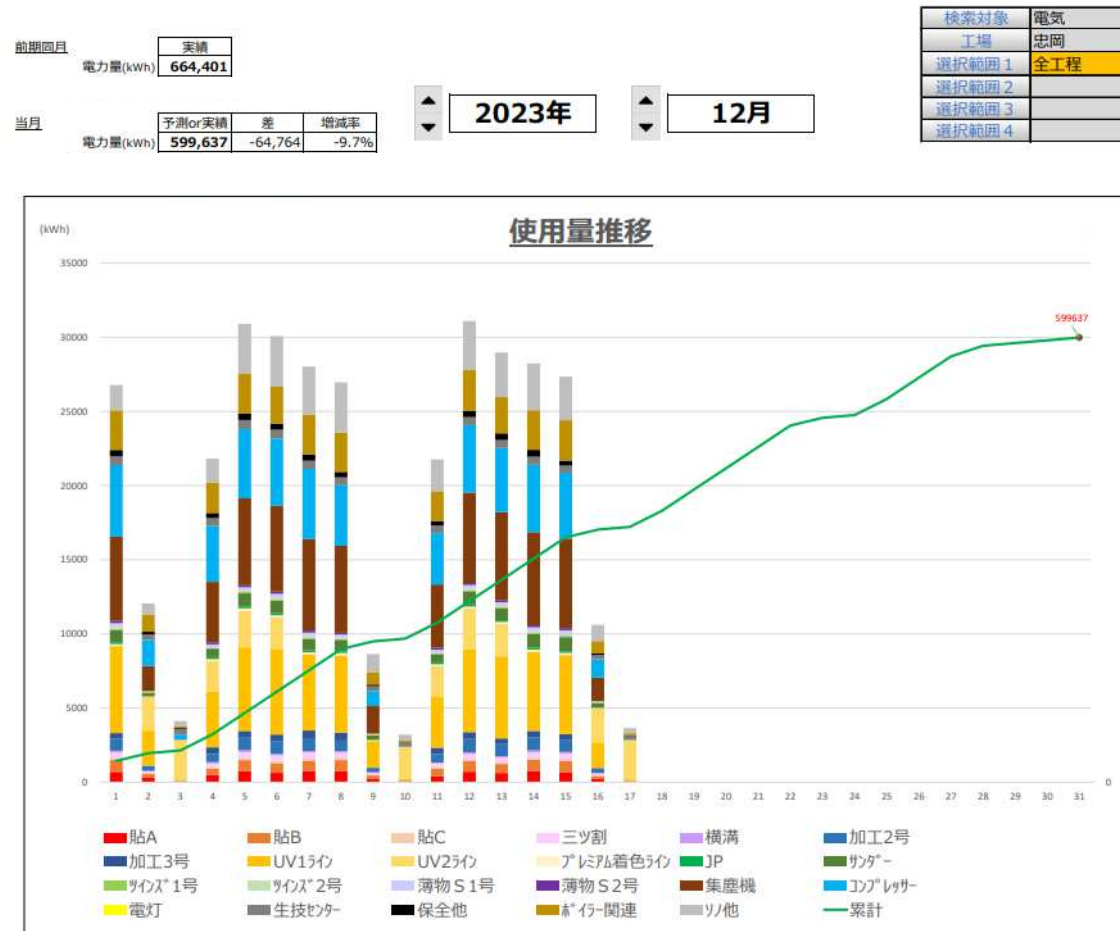
3.実際の活動内容① 電気使用量の可視化

図1 忠岡工場 電力構成割合



各工程の電気使用量が可視化されたことで、
集塵機・コンプレッサー・UV照射機の
インフラ設備の使用量が大きいことが判明した

3.実際の活動内容② エネルギーの見える化



電気使用量の実態を現場の役職者に毎月配信

3.実際の活動内容③ エアー漏れ対策

左：エアー漏れ診断画像



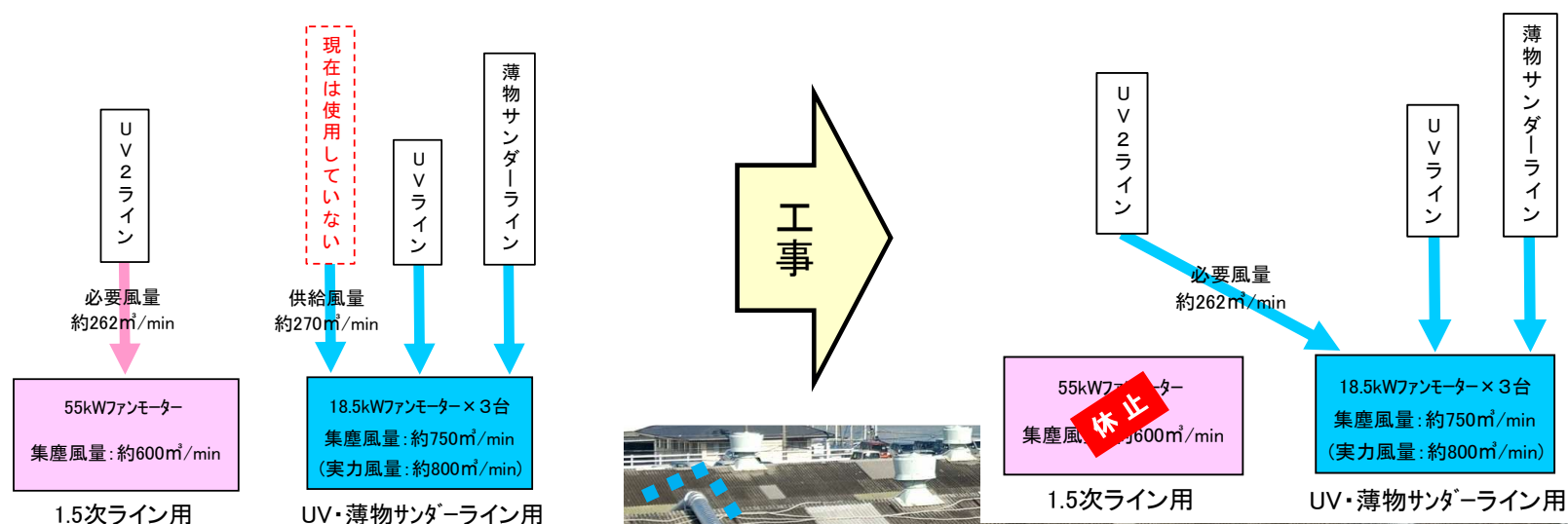
右：修理後診断画像



エアー漏れを画像で診断できる機械を購入し、
発見しにくかったエアー漏れ箇所の修理を実施
また、エアー圧力の調整を実施
効果があったため、各部署に横展開中

3.実際の活動内容④ 集塵ダクト系統の見直し

集塵ダクト系統を見直して、集塵機 1 台を停止



約40kWh
(192,000kWh/年間)
の削減を実現

